

# アルコール依存症と飲酒運転

会社員 男性 40代

酒運転は治らず繰り返していたところ、とうとう信号無視をした際にパトカーに呼び止められ、同時に飲酒運転で検挙され運転免許停止処分となり交通裁判所行きで罰金を納めることになりました。しかしそれでも飲酒運転を止めることができずにいた

飲酒運転は悪いことだと分か

ついていても何故運転するのか：最初は、歩いて行ける近くの店でお酒を買っていたのですが、

何回も大量にお酒を買っているところの人「アル中」と思われる人が嫌でわざわざ車を運転して遠くの店で買う癖がついてしまつていました。その頃は、失業

もどおり海でビールを飲んでバイクを運転して帰宅する際、前の車が停止したので間に合わずにはバイクごと転倒してしまいました。酒を飲んで運転していることもありますので右腕を怪我していることも忘れてその場からバイクを押して立ち去りました。

中で家の中で一人で過ごすのが嫌でまた、家の中で酒を飲んでいると「仕事もしないで酒ばかり飲んで」と家族と喧嘩になるのが嫌で、バイクのシートに買い込んだビールを入れて近くの海に行つて酒を飲んで気を紛らわせていました。このような生活が常態化していたとき、いつ

また、娘を送迎するために保育園に車で行った時、園児の母親から「ものすごくお酒の臭いがしますね、それも毎日といつていいほど臭いますよ」と言われ、それを聞いた3歳の娘は、私が保育園に送迎するのをすごく嫌がっていたのを昨日のように覚えています。それでも私の飲



ところ、知り合いの勧めで病院で診察をしてもらつたところ「アルコール依存症」と診断されました。それからは断酒会に参加することで今では、飲酒運転をしない生活を日々送り続けることが出来ています。